

## ○労働時間

- 平均労働時間は、全職業平均と比較して約1～2割長い。
- 平均所定外労働時間は、全職業平均と比較して約2～3倍の長さ。
- 週間就業時間が60時間を超える者(月80時間の時間外労働時間に相当)の割合は、約4割であり、全職業平均の約3倍。

## ○賃金

- 年間賃金は、労働時間が長いにも関わらず、全職業平均と比較して約1～3割低い。

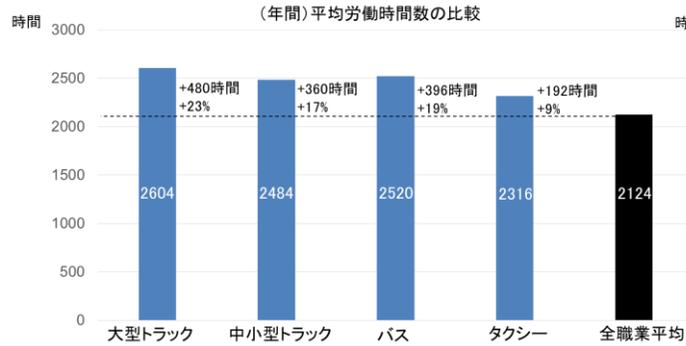
## ○運転者不足

- 有効求人倍率は全職業平均の約2倍。人手不足が年々深刻化。
- 女性比率は、全職業平均の1割未満と低い。
- 平均年齢は、全職業平均と比較して約3～17歳高い。

# 【参考】自動車運送事業の働き方をめぐる状況

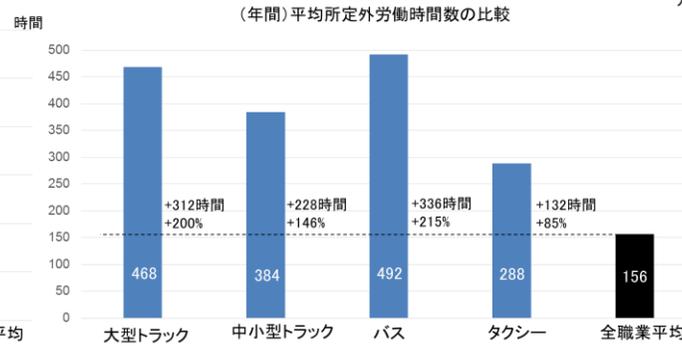
## ①労働時間

全職業平均より  
約1~2割長い。



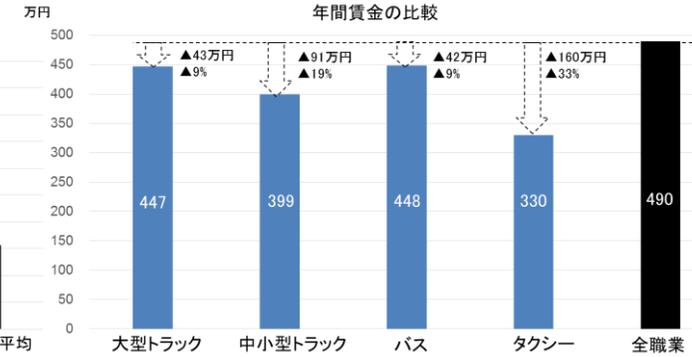
## ②所定外労働時間

全職業平均の  
約2~3倍の長さ。



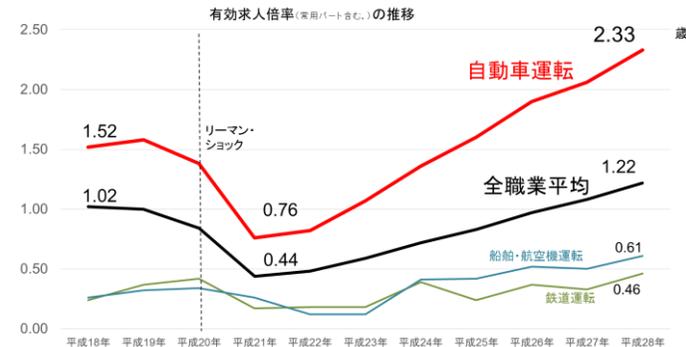
## ③年間賃金

長い労働時間にも関わらず、  
約1割~3割低い。



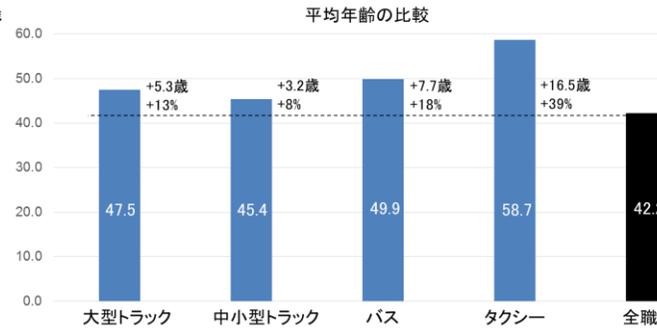
## ④人手不足

人手不足が年々深刻化。  
有効求人倍率は全職業平均の約2倍。



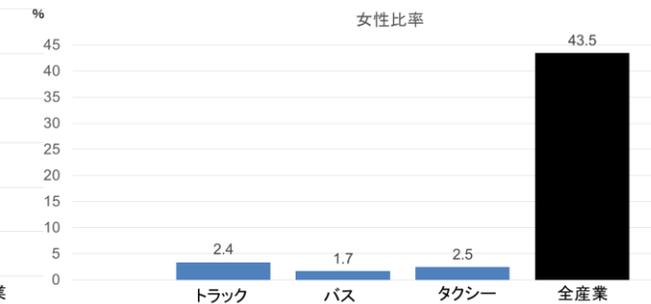
## ⑤高齢化

全職業平均より  
平均年齢が  
約3~17歳高い。

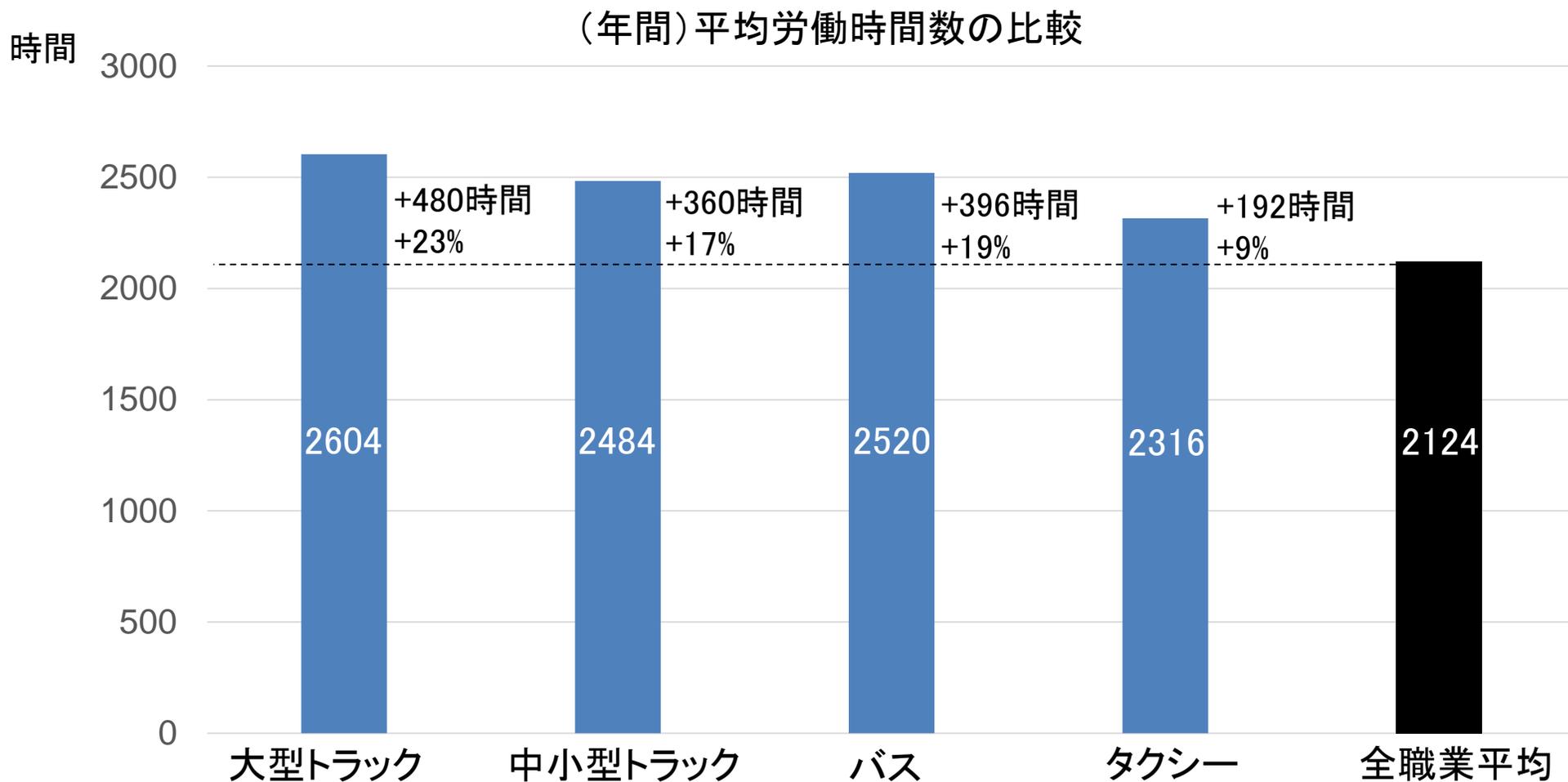


## ⑥女性比率

女性比率は全職業平均の1割未満と低い。



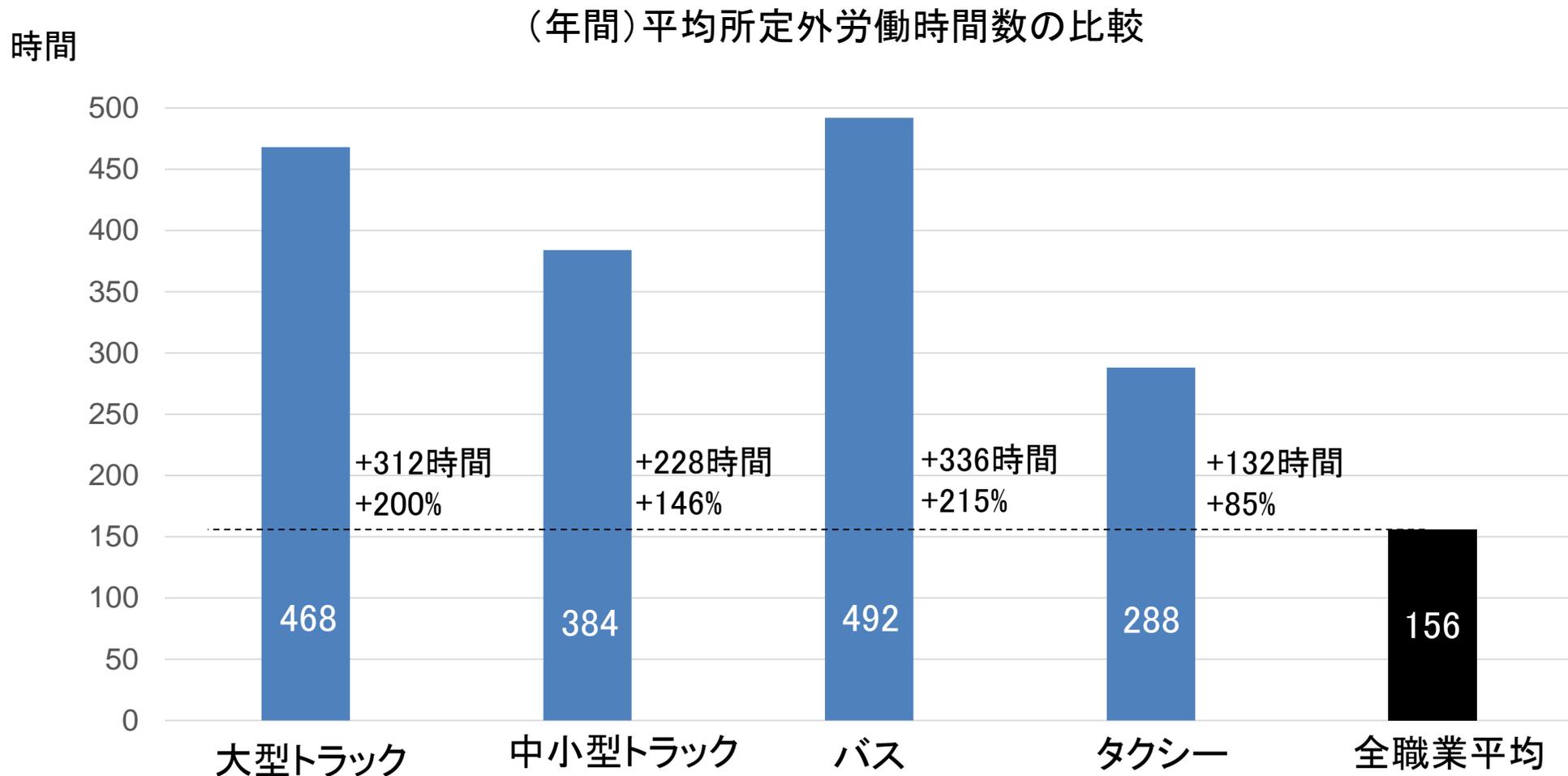
自動車の運転業務に係る平均労働時間は、全職業平均と比較して約1～2割長い。



注1)「大型トラック」、「中小型トラック」、「バス」及び「タクシー」はそれぞれ厚生労働省「平成28年賃金構造基本統計調査」における「営業用大型貨物自動車運転者」、「営業用普通・小型貨物自動車運転者」、「営業用バス運転者」及び「タクシー運転者」の数値。

注2)平均労働時間数は、「平成28年賃金構造統計調査」の「所定内実労働時間数」及び「超過実労働時間数」の和を年間に換算。

自動車の運転業務に係る平均所定外労働時間は、全職業平均と比較して約2～3倍の長さ。

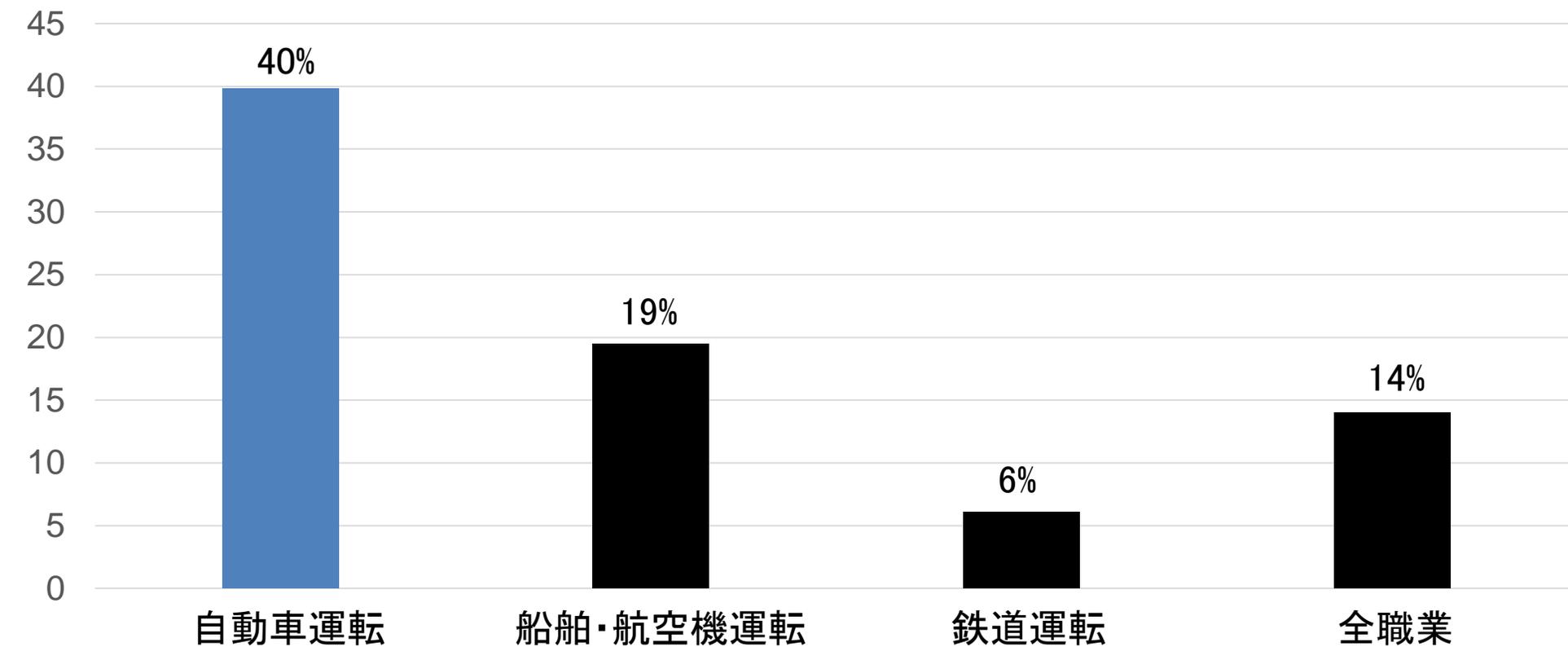


注1)「大型トラック」、「中小型トラック」、「バス」及び「タクシー」はそれぞれ厚生労働「平成28年賃金構造基本統計調査」における「営業用大型貨物自動車運転者」、「営業用普通・小型貨物自動車運転者」、「営業用バス運転者」及び「タクシー運転者」の数値。

注2)平均所定外労働時間数は、「平成28年賃金構造基本統計調査」の「超過実労働時間数」を年間に換算。

自動車の運転業務の従事者のうち、**週間就業時間が60時間を超える者（月80時間の時間外労働時間に相当）**の割合は、**約4割**であり、**全職業平均の約3倍**。

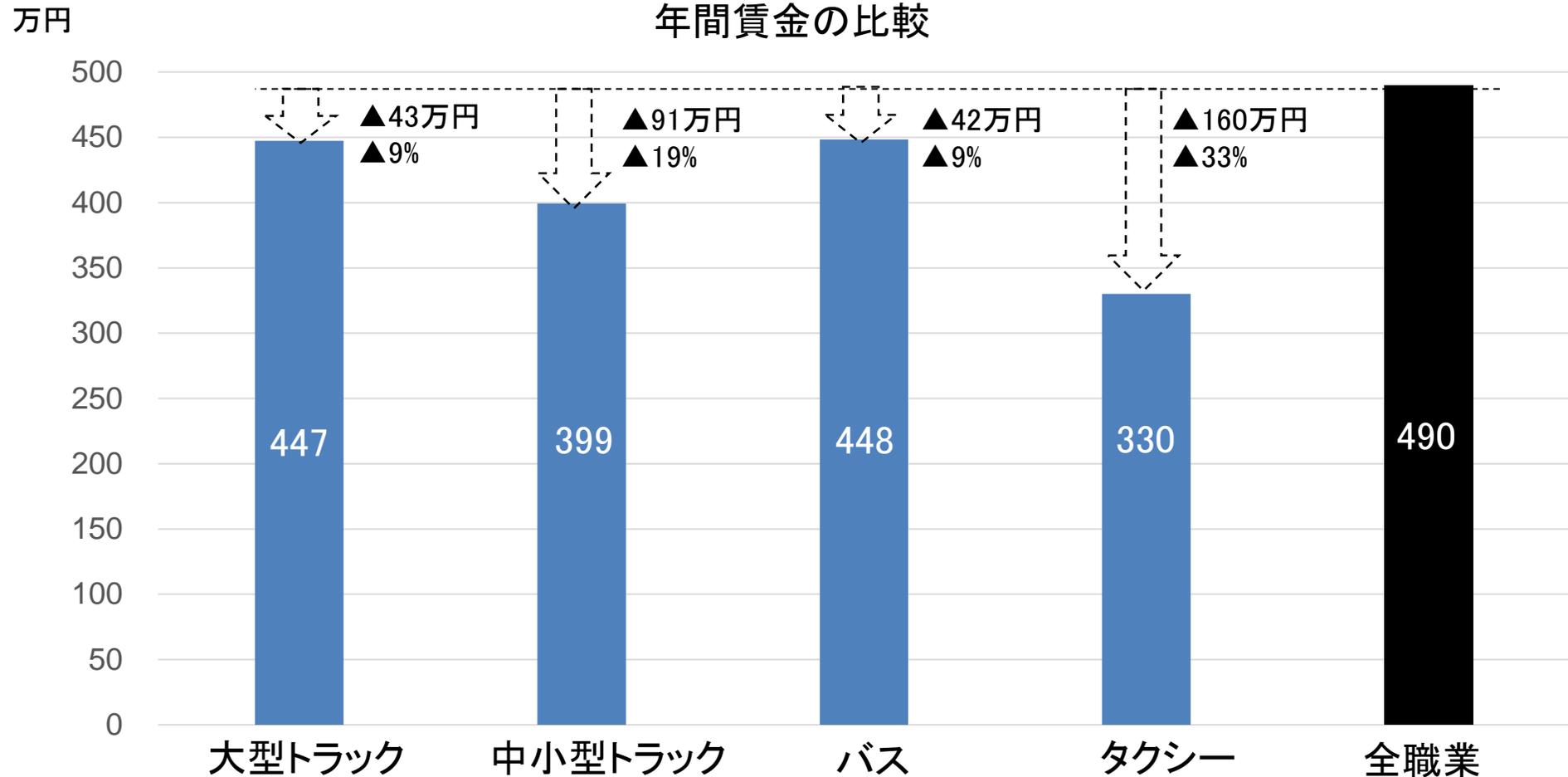
週間就業時間が60時間を超える者（月80時間の時間外労働時間に相当）の割合の比較



注1)「自動車運転」、「船舶・航空機運転」及び「鉄道運転」はそれぞれ総務省「平成24年就業構造基本調査」における「自動車運転従事者」、「船舶・航空機運転従事者」、「鉄道運転従事者」の「正規の職員・従業員」の数値のうち、年間200日以上労働している者の数値。

注2)一ヶ月を4週間、法定労働時間を週40時間と仮定した場合、週間就業時間が60時間を超える者は、月80時間の時間外労働に相当する。

自動車の運転業務の従事者の年間賃金は、労働時間が長いにも関わらず、全職業平均と比較して約1割～3割低い。

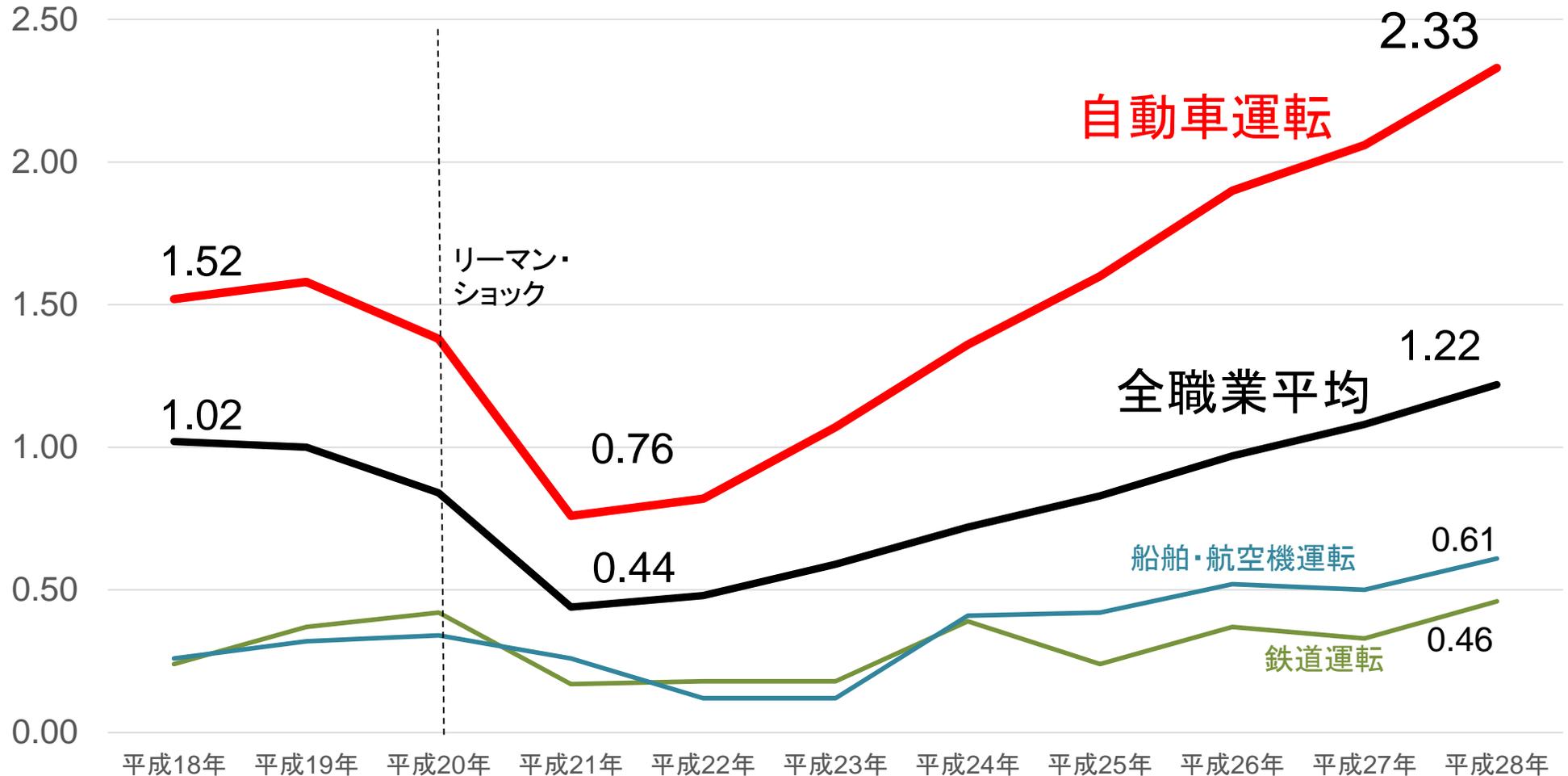


注1)「大型トラック」、「中小型トラック」、「バス」及び「タクシー」はそれぞれ「平成28年賃金構造基本統計調査」における「営業用大型貨物自動車運転者」、「営業用普通・小型貨物自動車運転者」、「営業用バス運転者」及び「タクシー運転者」の数値。

注2)年間賃金は、「平成28年賃金構造統計調査」の「きまって支給する現金給与額」の年間換算に「年間賞与その他特別給与額」を加えたもの。

自動車の運転業務の**人手不足が年々深刻化**しており、**有効求人倍率は全職業平均の約2倍**。

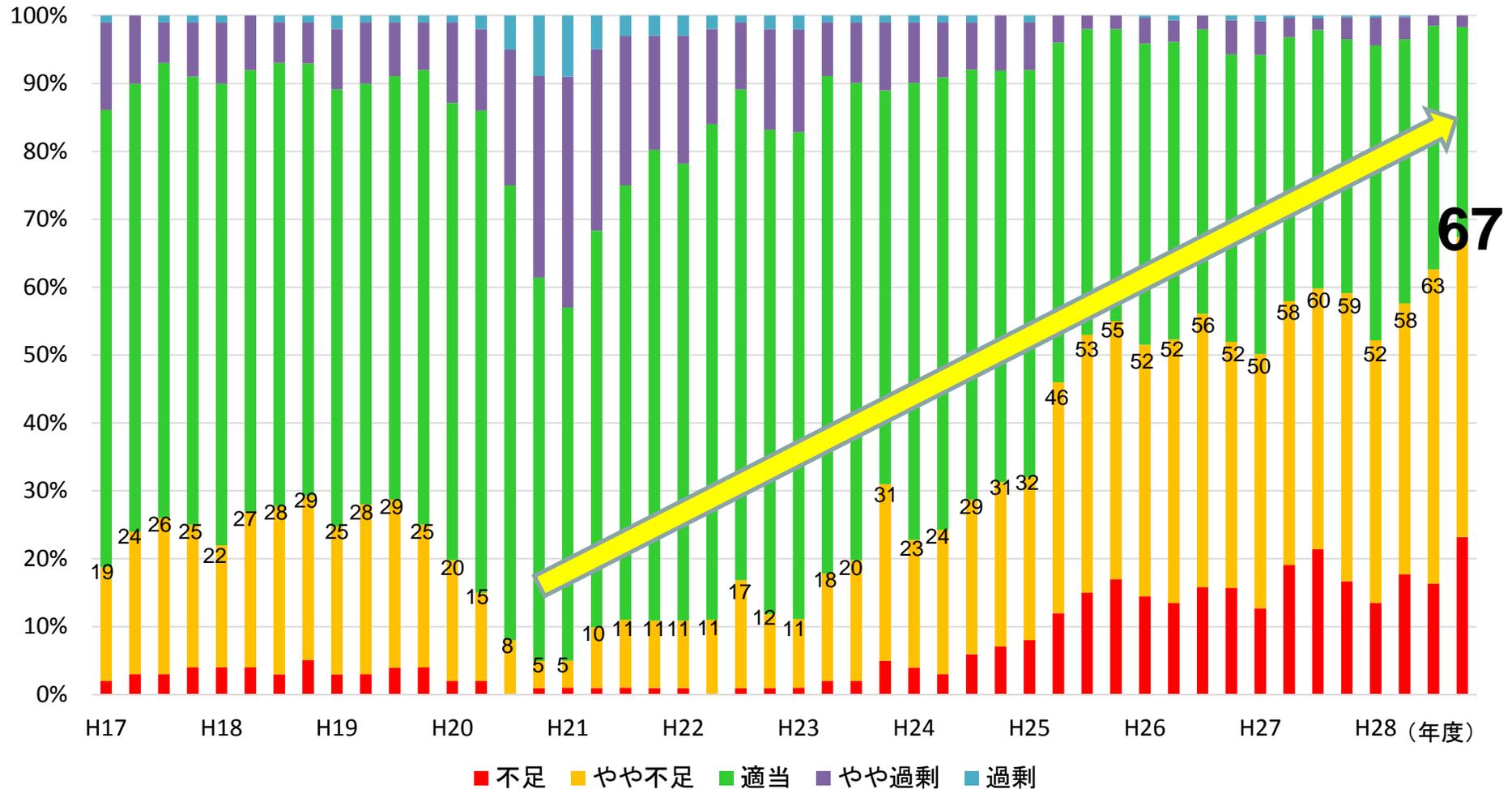
有効求人倍率(常用パート含む。)の推移



注)「自動車運転」、「船舶・航空機運転」及び「鉄道運転」は、厚生労働省「一般職業紹介状況」の「自動車運転の職業」、「船舶・航空機運転の職業」及び「鉄道運転の職業」の数値。

▶ トラック運送事業の人手不足感が近年強まっており、直近(平成29年1月～3月期)では約7割の事業者が人手不足の状況にある。

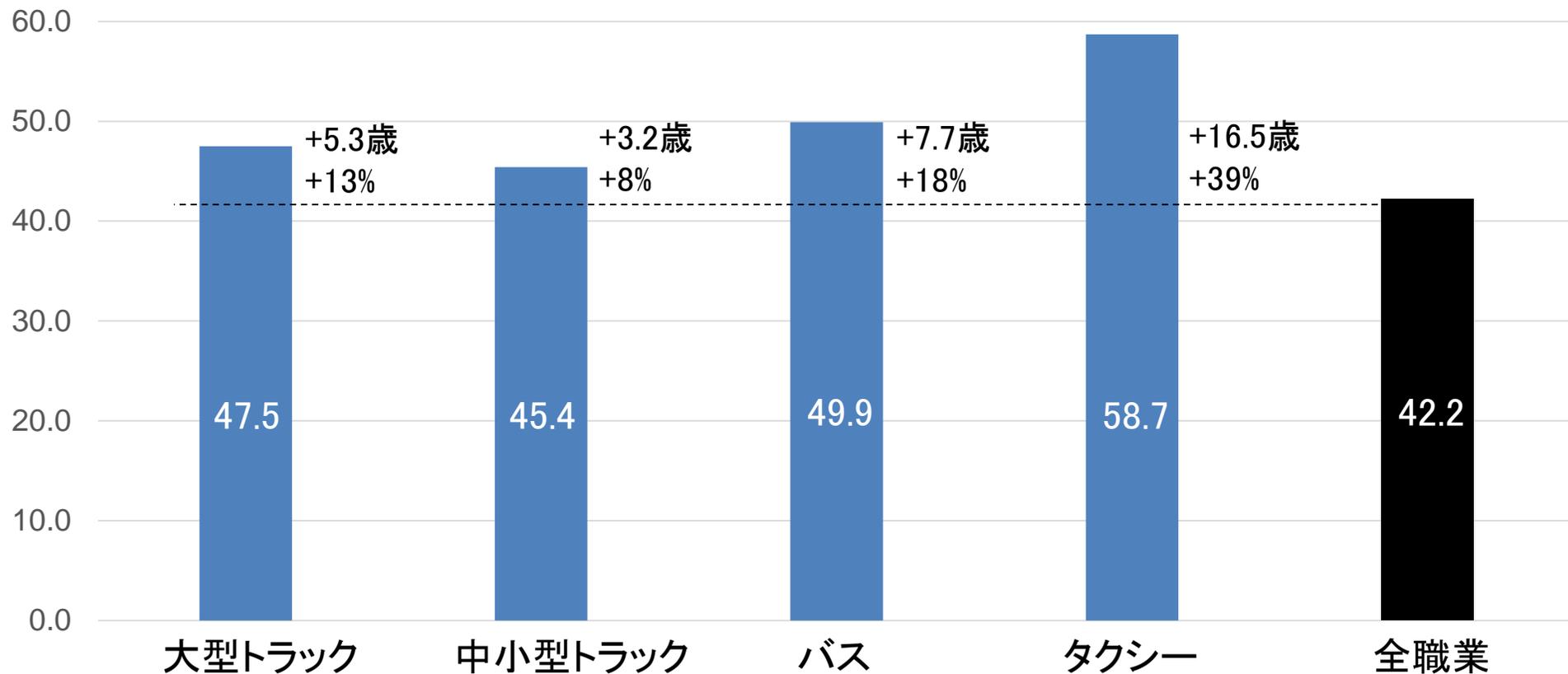
## 人手の過不足感の推移



- ・自動車の運転業務の従事者の**平均年齢は、全職業平均と比較して約3～17歳高い**。
- ・若者の雇用の促進が課題。

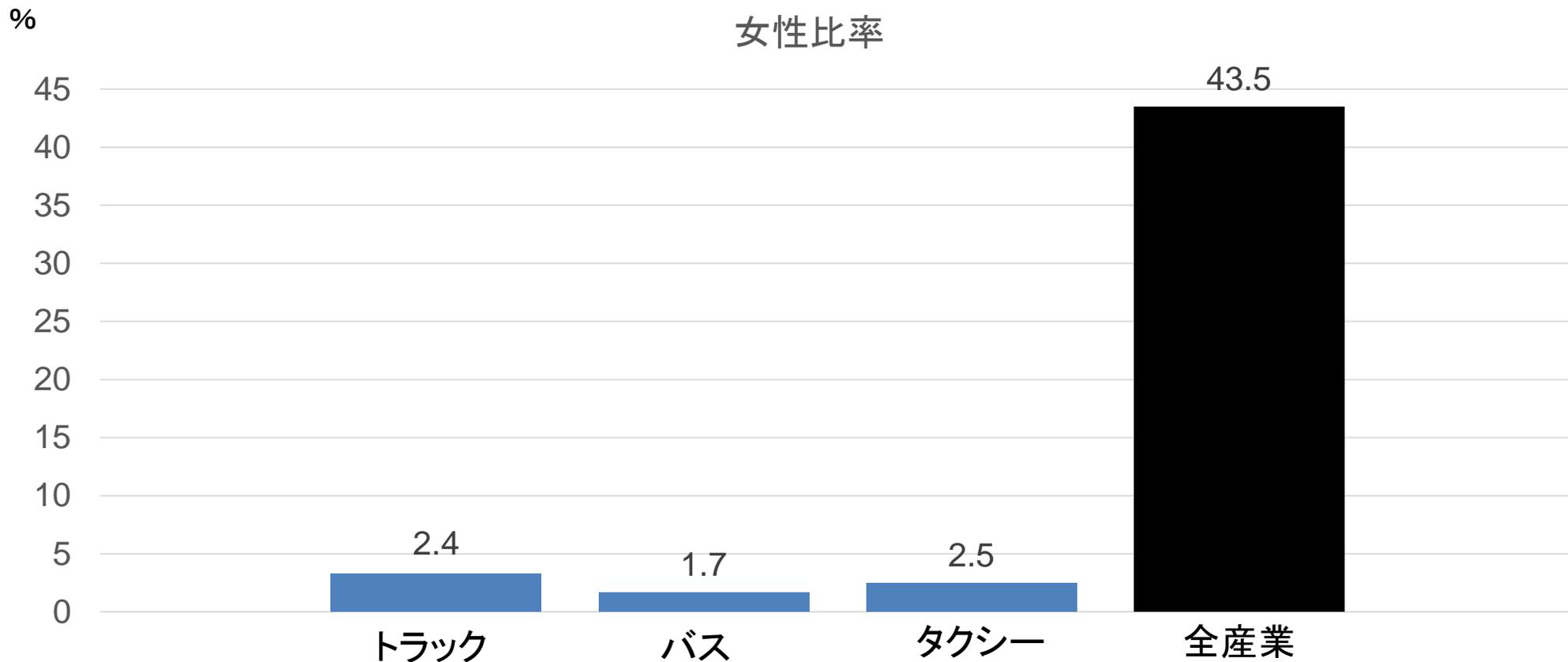
歳

## 平均年齢の比較



注)「大型トラック」、「中小型トラック」、「バス」及び「タクシー」はそれぞれ厚生労働省「平成28年賃金構造基本統計調査」における「営業用大型貨物自動車運転者」、「営業用普通・小型貨物自動車運転者」、「営業用バス運転者」及び「タクシー運転者」の数値。

- ・自動車運転業務の従事者の**女性比率は、全職業平均の1割未満と低い。**
- ・女性ドライバーの働きやすい環境の整備が課題。



注)「全産業」及び「トラック」はそれぞれ総務省「労働力調査」(平成28年度平均)における「全産業」及び「道路貨物運送業」の数値による。  
「バス」は(公社)日本バス協会調べ(平成27年)、「タクシー」は(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会調べ(平成27年)。